

令和2年 第5回豊後大野市教育委員会臨時会 議事録

1 開催日時

令和2年8月17日(水曜日) 午前10時00分開会 午前12時05分閉会 (2時間5分)

2 開催場所

豊後大野市役所 2階 教育委員会室

3 出席者

委員 4名中4名出席

(出席委員等)

教育長 下田 博

1番委員 矢野 憲一

2番委員 羽田野 光江

3番委員 江嶋 真朋子

4番委員 衛藤 栄一 (教育長職務代理者)

(欠席委員) なし

事務局 5名出席

(出席)

教育次長 堀 誉裕

学校教育課長 内野宮 俊介

社会教育課長 佐藤 精華

学校給食共同調理場長 赤嶺 真一 (学校教育課参事 兼)

図書館長 太田 新子 (社会教育課参事 兼)

歴史民俗資料館長 高野 弘之 (社会教育課参事 兼)

学校教育課長

書記 1名出席

学校教育課 課長補佐兼教育総務係長 衛藤 幸司

4 付議事項等

議事案件

議案第42号 令和元年度事務事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について

議案第43号 小中一貫校の基本方針について

5 会議の概要

○出席者報告

堀教育次長	おはようございます。委員の皆様お揃いですので、出席者の報告をさせていただきます。出席委員(4)名、欠席委員はございません。そして教育長及び教育委員会事務局(5)名の出席であります。内野宮学校教育課長は、出張のため
-------	--

	途中から出席となります。議案第43号小中一貫校基本方針につきましては、担当の板井指導主事が説明申し上げますので、入室の許可をお願いいたします。それでは、教育長よろしく願いいたします。
--	---

1 開会

下田教育長	(時候のあいさつの後) それでは、ただいまから令和2年第5回豊後大野市教育委員会臨時会を開会いたします。 (午前10時00分開会)
-------	--

2 議事録署名委員の指名

下田教育長	はじめに、会議規則第17条第2項の規定に基づき、本会議の議事録署名委員の指名を行います。1番 矢野憲一委員 を指名します。よろしく願いします。
矢野憲一委員	はい。(了承)

3 会期の決定

下田教育長	次に、会期の決定であります。本日一日限りといたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。
全委員	(「異議なし」の声)
下田教育長	異議なしと認め、本日一日限りと決定します。 本日の付議事項等は、議事案件として議案2件です。 よろしく願いします。

4 付議事項

○議事案件

議案第42号 令和元年度事務事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について

下田教育長	それでは、議案第42号の審議に入ります。事務局より提案をお願いします。 (堀教育次長・衛藤学校教育課課長補佐が令和2年第5回豊後大野市教育委員会臨時会資料により説明) <提案理由> 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、令和元年度事務事業教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について、外部評価会議を開催したので、その報告書を議会に提出し、公表する必要があるため提案するものである。
下田教育長	それでは、議案第42号令和元年度事務事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書の内容について、ご質問・ご意見をいただきたいと思いますが、目次の項目に沿ってお願いしたいと思います。

	はじめに、教育委員会の活動報告及び内部評価についてのご質問・ご意見をいただきたいと思います。 ご質問ございますか。
全員	(「なし」の声)
下田教育長	次に、事務事業の管理及び執行状況の点検・評価の方法について、ご質問・ご意見をいただきたいと思います。
矢野憲一委員	社会教育事業に関わる部分で、今年は新型コロナウイルスの影響で事業等が実施できなかったと思うのですが、この点については評価の対象とならないのでしょうか。
衛藤課長補佐	14ページの①教育委員会の効率的な運営の中で少し触れさせていただいております。
衛藤栄一委員	3月の学校休業について、非常にショッキングな出来事だったと受け止めています。学校現場の先生たちからもこうした経験は初めてだという話も伺いました。また、教育審議会も延期になったこと等を考えると、コロナ対応を評価対象に含めてもよいと思います。コロナ対応の経過だけでも記載した方がよいと思います。
下田教育長	臨時休業については、教育委員会で決定し実施したことを踏まえ、3月までの対応策と新年度に向けたコロナ対応策について記載することは必要かと思えます。その対応について、教育次長いかがですか。
堀教育次長	「2. 教育委員会の活動報告」(5)「関係機関の会議・研修会への参加」の後に(6)として「新型コロナウイルス感染防止対策について」を挿入することでいかがでしょうか。
下田教育長	今、教育次長から提案がありましたが、それによろしいでしょうか。内容については、こちらにお任せいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
全員	(「はい」の声)
下田教育長	それでは、議論した内容、取り組んだ内容について、記載させていただきたいと思います。
下田教育長	他にございませんか。
羽田野光江委員	19ページの番号「7」「8」「15」の自己点検及び総合点検の評価結果についてお聞きします。まず、「7」「8」についてですが、総合点検の評価結果が「A」に対して、自己点検の評価結果は「4」となっています。「A」の評価基準が「優れた取組が多く、十分成果が上がっている」という評価結果に対し、自己点検評価結果が「5」の達成に該当せず「4」となっている理由と、番号

衛藤課長補佐	<p>「15」については、自己点検結果が「5」の評価結果に対し、総合点検結果では「B」になっていることについての理由を教えてくださいたいと思います。</p> <p>まず、自己点検評価については、担当者及び課で行うもので、市長部局の事務事業評価シートに基づいて評価を行っています。次に、総合点検評価については、教育長及び管理職が評価を行っています。</p> <p>そこで、自己点検評価についてですが、評点の基準となる達成率は、事務事業評価シートの達成率を基準に判断していますが、達成率が80%以上でも、担当者として課題が残る指標については厳しめに評価しているものもあります。例えば、給食調理場の関係で申し上げますと、別冊資料の事務事業評価シートを見ていただきますと、活動指標として「食の指導」「給食の実施数」の項目があり、それぞれに達成率が示されています。この達成率を評点基準として自己点検評価を行っています。加えて、教育長、管理職が行う総合点検評価についても、同様に評価基準に基づく評価の判断基準としています。</p>
下田教育長	<p>文化財保護事業についても給食共同調理場運営事業と同様の評価結果が出ていますが、その点について、高野館長説明していただけますか。</p>
高野歴民資料館長	<p>まず自己点検評価についてですが、活動指標として「発掘調査の実施」、「文化財調査の記録保存件数」、「市民への調査実績公開件数」などがありまして、達成率が83%ですので、評点「5」としてはありますが、残念ながら事業によっては、計画通りに進んでいないものがあり、十分な成果が上がっているとはいえませんので、総合点検では「B」という評価としています。</p>
下田教育長	<p>活動指標があり、これを達成しているから自己点検評価が「5」、しかし総合点検評価では、事業が滞っていたり、展開の工夫が必要だということでの評価「B」、この評価のあり方については、よろしいでしょうか。</p>
全員	<p>(「はい」の声)</p>
下田教育長	<p>この評価のあり方はよいと思うのですが、番号「7」「8」「10」「11」については自己点検評価よりも総合点検評価の方がよくなっていますので、この点の説明はどうでしょうか。</p>
堀教育次長	<p>これについては、再度確認をさせていただきたいと思います。</p>
羽田野光江委員	<p>内容がわかって、評価の理由が妥当であればよいと思います。</p>
下田教育長	<p>それでは、ただ今ご指摘のあった部分と説明のまとめについては、先ほどの見解で整理をお願いしたいと思います。</p> <p>再度、評価の説明がキチンとできるように再検討をお願いします。</p> <p>中身と事実についてはご理解いただいたと思いますので、その上での修正については、ご理解をお願い申し上げます。</p>
下田教育長	<p>他にご質問等ございますか。</p>

下田教育長	<p>それでは、続いて 22 ページ外部評価関係についての説明をお願いします。 (衛藤学校教育課課長補佐が資料に基づき説明)</p>
下田教育長	<p>今回、外部評価アドバイザーの皆さんから、事務事業全般にわたり数多くの貴重なご意見をいただきました。これらのご意見を次年度の事業展開に活かしてまいりたいと考えています。 それでは、外部評価関係についてのご質問・ご意見があればお願いします。</p>
衛藤栄一委員	<p>今後の課題として重要な点として、まず 1 点目に、三重総合高校への取組を考えていかなければならないと思っています。 次に 2 点目として、ハード事業、ソフト事業について述べていますが、ハード事業では、図書館・資料館建設事業が特に大きな事業だったと思います。今後は、今年度導入したタブレット配布事業も含め、こうしたハード事業に対して、人員を含めたソフト事業に関して考えていかなければならないと思っています。</p>
下田教育長	<p>他にございませんか。</p>
下田教育長	<p>本日は、令和元年度事務事業に係る評価報告書に対し、委員の皆様からご指摘を含め建設的なご意見をいただきました。評価書に対する外部評価アドバイザーのご意見も含め、今後の教育委員会の施策の推進に活かしていかなければならないと思います。いただきましたご意見につきましては、評価報告書の中に盛り込み、議会への報告、そして市民への公表に向けて整理させていただきます。</p>
下田教育長	<p>それでは、最後のまとめについて説明をお願いします。 (堀教育次長他担当課長が資料に基づき説明)</p>
下田教育長	<p>それでは、まとめについてご質問・ご意見をいただきたいと思います。</p>
衛藤栄一委員	<p>「まとめ」の最後に、「中・長期的ビジョンにたった教育委員会のリーダーシップが必要…」と書かれていますが、社会教育や学校教育でのリーダーシップは、市民の方々や学校の先生のリーダーシップが必要と思っています。市民を推進主体としてとらえ、現場でのリーダーシップは、保護者や教職員であることが望ましいと考えています。リーダーシップを狭義にとらえるかどうかで変わってきますが、教育委員会はあくまでリーダーシップを支える立場でよいのではないかと思います。私は、教育委員会が方向性を示すことはよいと思うのですが、リーダーシップを取ることにについては疑問に思っています。見解の相違があるかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
下田教育長	<p>今、衛藤委員さんから、リーダーシップのあり方についてご意見をいただきましたが、教育全体のリーダーシップのあり方としては、あくまで市民が主体となり、そしてリーダーシップを取り推進していく、それを教育委員会が支えるという考え方は、同じではないかと思っています。こうした前提に立ち、教育委員会</p>

	は、各種施策、事業に計画的に取り組み、確実に推進していく責任を負っていると思います。この意味でのリーダーシップというご理解をいただき、文章の表現については修正をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
衛藤栄一委員	はい。(了承)
下田教育長	それでは、そのように修正をさせていただきます。
下田教育長	それでは、議案第 42 号について採決を取ります。議案第 42 号については原案のとおり決定することにご異議ありませんか。
全員	(「異議なし」の声)
下田教育長	異議なしと認めます。議案第 42 号 令和元年度事務事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書については、修正を含めて原案のとおり決定します。 次に議案第 43 号の審議となっておりますが、議案内容を考慮し、その他を先にお願ひしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
全員	(「はい」の声)

5 その他

○新型コロナウイルス対応について(報告)

下田教育長	それでははじめに、その他について、説明をお願いします。 (衛藤学校教育課課長補佐が令和2年第5回豊後大野市教育員会臨時会資料により説明)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス対応について(報告) ○ 中体連結果について(報告) ○ 夏季授業日の参加状況について(報告) ○ 豊後大野市公民館等の指定管理者制度導入説明会の実施について(報告) ○ 学校訪問日程(案)について
下田教育長	その他について、ご質問、ご意見ございますか。 よろしいでしょうか。
全員	(「はい」の声)
下田教育長	ここで休憩します。(11時26分)
	再会します。(11時37分) ～内野宮学校教育課長がここより参加～

4 付議事項

○議事案件

議案第43号 小中一貫校の基本方針について

下田教育長	それではこれより、議案第43号小中一貫校の基本方針についての審議に入ります。説明をお願いします。 (板井学校教育課指導主事が資料により説明)
下田教育長	それでは、議案第43号小中一貫校の基本方針について、ご質問、ご意見をいただきたいと思えます。
矢野憲一委員	小中一貫校の基本方針(案)の義務教育学校と小中一貫型小学校・中学校の比較表で、小中一貫型小学校・中学校の組織について、校長1名又は2名、1名の場合は教諭1名となっていますが、このことの意味について説明をお願いします。
板井指導主事	校長は各学校に1名が基準ではありますが、併設型小中一貫校の場合は、校長を2名置かず、1名にすることもできます。小中一貫校は、条例上は小学校、中学校がそれぞれ存在することになるので、人員措置として校長2名が定数となるため、校長1名とした場合、定数2名のうち1名を教諭として配置できるということです。
下田教育長	基本定数が変わらないので、定数通りの配置になりますが、校長2名で配置するのか、校長1名、教諭1名で配置するかの選択ができるということです。しかし、教頭3名ということにはなりません。教頭の配置数は2名に決まっています。 他にご質問・ご意見はございませんか。
下田教育長	早速、この基本方針に基づき、コミュニティスクールへの説明会を実施していかねばなりません。いろんなところでいろいろな質問が出ると思いますが、この基本方針に基づいて説明してまいります。各町の基本構想については、来年の3月までに具体的内容を決定したいと考えています。基本構想の中身については、各町の特徴を踏まえた内容の検討課題を提案しています。検討課題の実施目標については、あくまで教育委員会としての目途としていますが、学校教育審議会からスピード感をもって対応するよう答申を受けていますので、3年以内にはキチンとした方向性を出す必要があると考えていることから、令和5年度を実施目標にしています。ただ、三重町と緒方町については、校舎が離れていることから、検討に要する時間を考慮し、実施目標年度を記載しておりません。また、学校の設置については、施設分離型を基本スタイルにしていますが、千歳町については、施設一体型を基本としたスタイルで提案させていただいています。 いずれにしても、改めて11月から1月までの間でスケジュールの確認をさせていただき、教育委員会に報告させていただきます。
下田教育長	ご意見をいただきたいと思えます。

<p>衛藤栄一委員</p>	<p>確認ですが、一貫校については確定ですね。 学校像の明確化で町づくりの視点から書かれていますが、是非とも「あなたの町の学校」であることを、しっかりアピールしていただきたい。 今回、非常によい機会ととらえているので、学校は誰のものかという論点から、「地域のもの」、「地域住民のもの」という意識を持ってもらうためのアピールを是非お願いしたいと思います。ケーブルテレビなどを利用した情報発信はできないでしょうか。</p>
<p>堀教育次長</p>	<p>本日の教育委員会で承認されれば、市民はもとより、議会への報告、そしてマスコミ等への情報発信も必要と思います。議会への手続き等も踏まえ、適切により効果的な情報発信に努めたいと思います。</p>
<p>衛藤栄一委員</p>	<p>今が一番チャンスだと思います。コミュニティスクールとして運営していくためには、住民を巻き込んだ学校運営のあり方を考えなければならないと思います。そのためには、学校の大切さや学校が町の核であることを再認識してもらう必要があると思います。それを知ってもらう良いタイミングだと思いますので、是非とも情報発信をお願いします。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>衛藤委員から大変貴重なご意見をいただきました。このご意見を踏まえ、情報発信の方法やタイミングについて検討することとします。 本日、この基本方針が承認されれば、全ての町に学校があるという提案をすることになります。設置される新たな学校は、9年間を通じた小中一貫教育校として位置づけ、そして地域とともにある学校づくりを市民とともに作り上げることが、小中一貫校の学校像であることを市民に知ってもらわなければなりません。そのための情報発信のあり方については十分検討してまいります。 今後、コミュニティスクールや保護者への説明会を行ってまいります。このことを十分踏まえた説明内容にしてまいります。</p>
<p>羽田野光江委員</p>	<p>小中一貫校の今後の方向性については、今後も引き続き検討課題として残ると思います。基本方針に地域の特色ある学校づくりを掲げていますが、いつまで学校として存続できるかという不安があります。つまり、小規模校のあり方が、今後の課題として残ると思っています。慎重に進めていかなければならないと思います。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>今回の小中一貫校の計画期間は、どの程度に考えていますか。</p>
<p>内野宮学校教育課長</p>	<p>10年は継続したいと考えています。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>少しでも早く、実施すべきだと考えています。 そして、地域で学校を守ることができるのであれば、できるだけ早く実施できることが良いと思っています。 まずは、この成果を出すべきで、安易な統廃合の議論はすべきでないと考えています。</p>
<p>羽田野光江委員</p>	<p>地域から学校がなくなることは、地域が廃れて行くことを経験していますので、</p>

<p>下田教育長</p> <p>全員</p> <p>下田教育長</p>	<p>安易に統廃合を考えたくはないのですが、保護者の中には小中一貫校について疑問を持っている方もいます。</p> <p>10年という期間は、あっという間に過ぎますので長期にたった考え方が必要と思います。</p> <p>大事なことは、保護者や市民の方に小中一貫校の考え方やメリットをどのように伝え、納得していただくか手法も考え進めることが肝要だと思います。</p> <p>ご指摘のとおりだと思います。</p> <p>ただ今、いただいたご意見を整理し、丁寧に説明をしていきたいと思っています。</p> <p>それでは、議案第43号について採決を取ります。議案第43号については原案のとおり決定することにご異議ありませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認めます。議案第43号 小中一貫校の基本方針については、原案のとおり決定します。</p>
-------------------------------------	--

6 連絡調整

○ 令和2年8月・9月定例会の日程確認及び総合教育会議の予定について

<p>下田教育長</p> <p>堀教育次長</p> <p>下田教育長</p>	<p>それでは連絡調整に入ります。説明をお願いします。</p> <p>先月の定例会で決定いただきました8月定例会は、8月25日火曜日午前9時から、9月定例会は、9月29日火曜日午前9時からの予定でしたが、総合教育会議を9月29日火曜日15時からの開催予定となっていますので、9月定例会を9月29日火曜日13時からに変更したいと思います。ご検討をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">===== 日程協議・確認調整を行う ===== (協議の結果)</p> <p>8月定例会については、8月25日火曜日 午前9時から開催することに決定します。よろしくをお願いします。</p> <p>9月定例会は、9月29日火曜日 午後1時から開催しますので、よろしくをお願いします。なお、総合教育会議につきましては、定例会終了後午後3時から開催予定となっていますので、よろしくをお願いします。</p> <p>また、10月定例会につきましては、10月29日木曜日 午前9時から開催しますので、よろしくをお願いします。</p> <p>これで、連絡調整を終わります。</p>
--	---

7 閉会

<p>下田教育長</p>	<p>以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。</p> <p>これで、令和2年第5回豊後大野市教育委員会臨時会を閉会いたします。</p> <p>お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(午後0時05分閉会)</p>
--------------	--